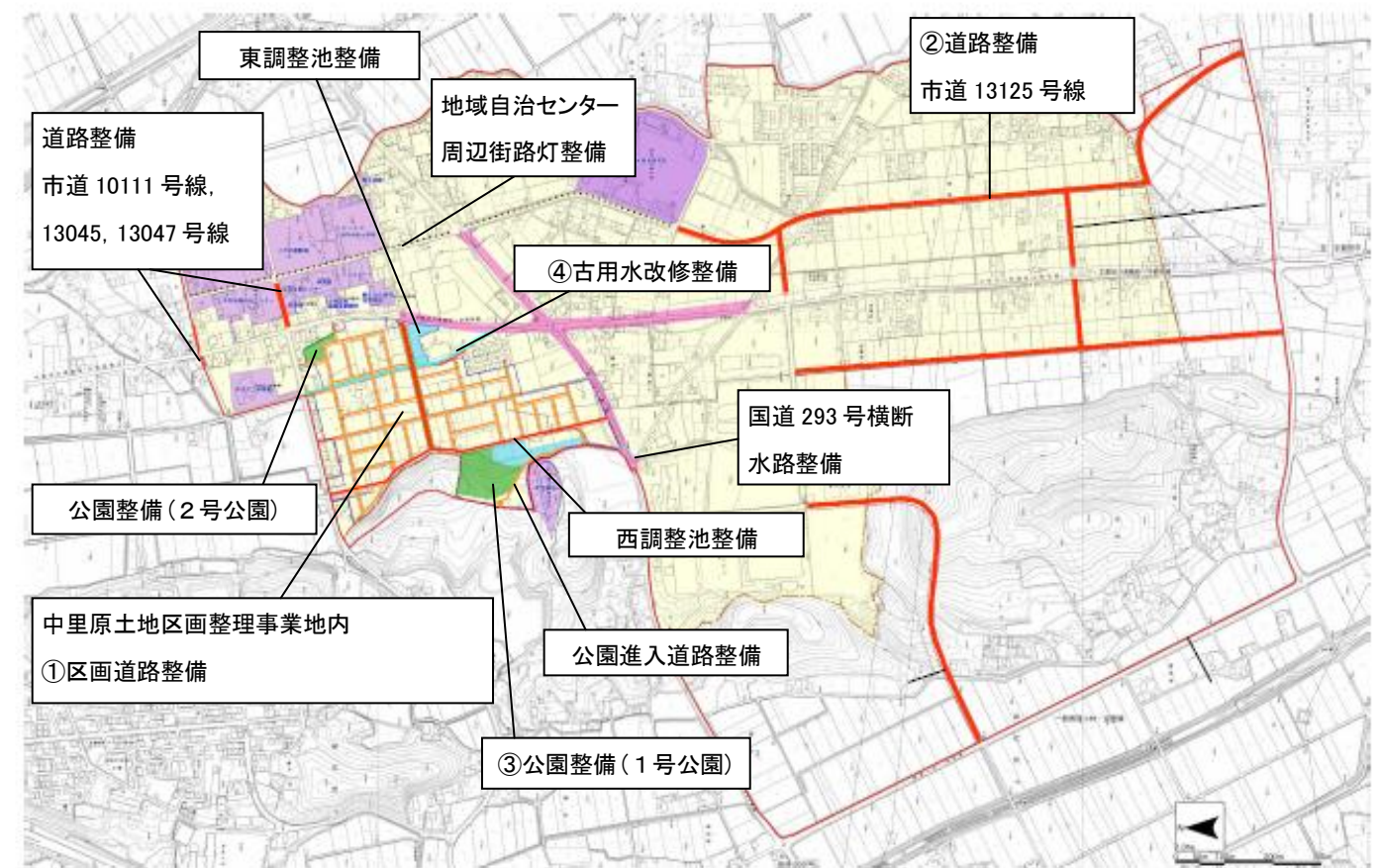


都市再生整備計画（中里・金田地区）の概要

- ・本地区は、宇都宮中心部から北へ約15km、一般国道293号と主要地方道藤原宇都宮線との交差点周辺に位置し、自然と歴史・文化、生活環境の調和の取れた地域であるとともに、宇都宮市街地との地理的關係からベッドタウン的な役割を持つ地域である。
- ・現在、県道藤原宇都宮線の4車線化が行われ、宇都宮中心部へのアクセス性の向上が見込まれており、今後同沿線地域を中心に都市化が急速に進むことが予測されている。一方で地元からは日常的な生活を支える商業施設の充実や公共下水道など生活環境の整備を求める声が高まっていた。
- ・このため、合併前の旧上河内町において、平成13年度に都市計画に関する基本方針を策定、平成15年に用途地域の決定を行うとともに、平成19年には中里原土地区画整理事業に着手、平成22年には「第2次宇都宮市都市計画マスタープラン」において地域交流拠点として位置づけ、まちづくり交付金を導入しながら、事業の推進を図っているところである。



(1) 計画概要

【地区名】中里・金田地区
 【面積】232ヘクタール
 【交付期間】平成19年度～平成23年度
 【交付対象事業費】約15億円（国費率40.3%）
 【区域】中里町・金田町・上田町・松田新田町の各一部

(2) まちづくりの目標

【大目標】
 住みやすく暮らしやすい生活都市の形成

【小目標】

- ・高い利便性と周辺環境と調和した魅力的な居住地づくり
- ・充実した公共サービス利用等を促す効率的な街なかネットワークづくり
- ・安全安心の歩行環境づくり

(3) 事業

【道路】市道13381～13418号線【右図①】、市道13420号線、市道13045、市道13047号線、市道10111号線、市道13125号線【右図②】

【公園】1号公園【右図③】、2号公園

【地域生活基盤施設】西調整池、東調整池

【高質空間形成施設】市道13381号線歩道、歩行者専用道路、地域自治センター周辺街路灯

【地域創造支援事業】古用水改修整備事業【右図④】、国道293号横断水路整備事業、公園進入道路整備事業



土地区画整理事業地内 ①区画道路整備



②道路（市道13125号線）



③1号公園



④古用水改修整備事業